

子どもの安全安心を守るため 小学校新1年生に防犯ブザーを贈呈

西臼杵生コンクリート事業協同組合(木田正美理事長)は町内の小学校新1年生75人に防犯ブザーを贈りました。この活動は平成23年から毎年続けられています。3月16日に役場で贈呈式が行われ、濱田教育長は「子どもの安全のために有効活用させていただきます」と述べました。

贈呈された防犯ブザーは各小学校の入学式で配布予定です。ぜひランドセル等に付けて、お役立てください。



「もしも」のためのお守りに

宮大生2人がインターンで神楽の館へ 違う視点から感じたことを発表

宮崎大学地域資源創成学部新3年の京保亜美さんと那須優矢さんは岩戸の神楽の館で約1か月のインターンシップを行いました。3月12日に報告会を開催しました。2人は同館で民泊業務や建物の改修、清掃を体験。京保さんは「高千穂は人の好きが魅力。人間関係を大事にしたいと思った」、那須さんは「自営業に興味を持った。大学での地域振興についての研究が深まると思う」と感想を述べました。



町長が「今後もつながりを持ち続けてほしい」とコメント



ここでの歌やダンスも最後となりました



どこまでも飛んで行け

今までありがとう！半世紀の歴史に幕 田原保育園で閉園式を挙げる

田原保育園の閉園式が3月28日に同園でありました。式は新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小。園児や保護者、職員ら約40人が出席し、慣れ親しんだ園との別れを惜しまれました。約半世紀にわたる歴史に幕を下ろします。

同園は1970年(昭和45年)に町立田原へき地保育園として開設され、77年に現在地(高千穂高校田原分校跡)に移転。2015年に田原保育園に改称し

ました。80年代には園児が約40人いましたが、次第に減少し最近では20人を下回っていました。建物の老朽化もあり令和元年度末での閉園となりました。

閉園式では実行委員長を務めた工藤瑞紀さんが「園児が少なかったからこそ子供同士の思いやりの心が育まれた」とあいさつ。記念碑の除幕式や園児による歌やダンスの披露もあり、保護者らは最後となるここでの様子を写真に収めていました。